

2023 / 秋 / No.119
SU
来ぶらり

新・大学図書館へようこそ!

Part 2



2F Grove Lounge

ライトな雑誌類が置かれていて、リラックスできるエリアです。季節ごとに、所蔵資料の展示もしていますのでぜひ見てみてください。図書館イベント「選書ツアー」で学生みなさんが選んだ本も並びますよ。



新・大学図書館へようこそ！

Part 2

『来ぶらり』前号(118号)に続き、新しい大学図書館を特集します。2023年7月には7-10Fの集密書架がオープンし、全面開館となりました。そこでどのフロアにどんな本があるのかを中心にをご紹介します。フロアの特徴を掴んだら、ぜひ実際に足を運んでみてください！

3F 話題/ガイド/資格コーナー

ベストセラーや学生選書本、資格や検定試験の本などが置かれています。吹き抜けの眺めも良く、隠れた人気フロアです。

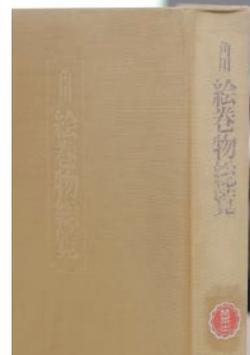


『地球の歩き方 スペイン 2024-25年版』
地球の歩き方編集部編著 Gakken travel/2023

このシリーズはその国・地域の特徴や概要が分かりやすく紹介されているため、旅行ガイドとしてだけでなく、地域を知る入口の本としてもオススメです。図書館3階にある椅子は、実はスペイン製のものなのです。



6F 参考図書



『角川絵巻物総覧』
宮次男、真保亨、吉田友之編
KADOKAWA
721/346 ア

日本の絵巻物について、内容や主題、解説がまとめられている事典。年表もあって歴史も追うことができます。大学図書館所蔵の貴重書『伴大納言絵巻』も取り上げられています(版は異なる)。

調べ物のための辞書や事典などの資料や大型本のフロアです。そのため書架は低く作られていて、見通しの良いフロアになっています。



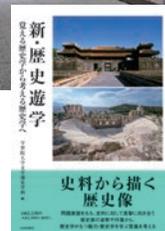
5F 開架図書

背の高い書架がジャングルのように立ち並んでいます。主に新しく入った学修用図書が並ぶほか、文庫や新書も置かれています。



『マンガ!: 大英博物館マンガ展図録』
ニコル・クーリッジ・ルーマニエール、松葉涼子編 松葉涼子日本語版監修
山川早霧、飯原裕美訳 三省堂 726A/R76m

大英博物館で開催された「マンガ展」図録の日本語版です。表紙には漫画「ゴールデンカムイ」の登場人物が載っています。興味を持たれた方は『アイヌ文化で読み解く「ゴールデンカムイ」(Best/2022)も必読です！



『新・歴史遊学: 覚える歴史学から考える歴史学へ』
学習院大学文学部史学科編
山川出版社 204A/G16s



『数式図鑑: 楽しく、美しく、役に立つ科学の宝宝箱』
横山明日希著 講談社
081.2/50/2178

7-10F 集密書架

図書や雑誌のバックナンバーがあります。ずらりと並んだ電動の集密書架を自分で開けて、本を探してみてください。書架の周りを見ると関連本も見つかります。たくさんの資料が、貴方との出会いを待っています。

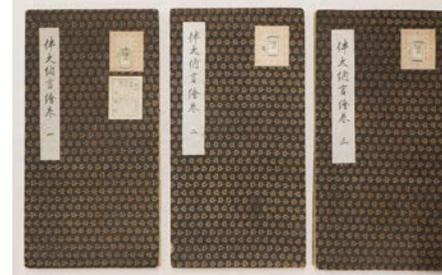


11F 貴重書

利用者の皆さんが通常立ち入ることができないフロアです。貴重書書庫は、資料を守るため厳格に温湿度管理を行っています。また他のフロアと異なり床にはブナの板が張られ、天井や壁は調湿パネルで仕上げられています。

貴重書の一例: 『伴大納言絵巻』

平安時代後期の絵巻物の名品。清和天皇(856~876年在位)の治世下、貞観8年(866年)に起こった「応天門の変」を詞書に、鑑賞絵巻と成したもの。書名は「絵巻」ですが当館の所蔵は折本の形態で、江戸時代後期の写本と考えられます。



★大学図書館が所蔵する貴重書の一部は、デジタルライブラリーで公開しています★
学習院大学デジタルライブラリー <https://glim-op.glim.gakushuin.ac.jp/>



学習院大学デジタルライブラリー

PC貸出口ッカーのご紹介

図書館2階にあるPC貸出口ッカーでは、館内で持ち運び可能なノートパソコン(46台)が借用できます。学生証、教職員証、学習院図書館利用証のいずれかを持参し、ロッカーにてご自身で借用手続きを行ってください。

借用したノートパソコンは7階リフレッシュコーナーを除き、館内の全フロアで利用できます(2階自習室、4階グループ学習室、7階個人学習室にも持ち込めず)。館内のお気に入りの席に持ち運んで、レポートの作成やゼミ発表などの準備にぜひ活用してください。



<https://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/service/pc.html>



わたしの 本棚

身体表象文化学専攻
佐々木 果 教授



一番取りやすい場所にある本

私の本棚は、ほぼカオス状態です。引越しの時に取り急ぎ適当に本を詰めてしまったのが命取り。マンガから研究書にいたるまで、ごちゃ混ぜの状態になったところに、新刊本などを積んでいるうちに、何がどこにあるのかさっぱりわからなくなってしまいました。我ながらどうしようもないです。

ただ、自分の机から一番手の届きやすい場所にだけは、いつも同じ本があります。『西洋思想大事典』(全5巻/平凡社)という本です。私の専門分野はマンガ研究なので、身の丈に合わない感じの本なのですが、もともと大学の外にいた私がこの20年ほどの間に人文学の勉強を進める上で、最も刺激的で面白かった本です。渡来文化として始まった日本のマンガの歴史を、世界史の中で研究しようとした時に、こんなに勉強になった本は他にありません。編者はHistory of ideasという学者グループで、文化史に関する数多くのキーワードを、その分野の第一人者がコンパクトに解説している大変贅沢な内容です。ちなみに日本語版は50音順なので、第1巻は「愛→ゲーム理論」となっています。ぱらぱらページをめくるだけでも、いつでも新しい刺激が得られ、汲み尽くしきれない魅力のある本です。



←某大学図書館の廃棄本を古書店で買ったので、背にはラベルがついています。
こんな本を廃棄するなんて実にもったいない...



来ぶらり No.119 2023年11月15日

学習院大学図書館 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

発行責任者：鈴木亘教授 編集委員：山脇治・遠山有紀

総合カウンター (内線 2397) : ☎ 03-5992-1009(直通) レファレンスカウンター (内線 2396) : ☎ 03-5992-9249(直通)

「来ぶらり」のバックナンバーは (<https://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/about/publication.html>) で公開しています。